

神戸市感染症発生動向調査週報

平成31年1月8日 作成

神戸市感染症情報センター

報告定点数 48 ケ所 (内訳)東灘6,灘3,中央3,兵庫3,
設置定点数 48 ケ所 北8,長田3,須磨6,垂水8,西8

第 1週 平成31年12月31日 ~ 平成31年1月6日

インフルエンザ

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	～79歳	80歳～
インフルエンザ	23	15	3	6	15	22	22	44	29	179		2	5	6	7	8	3	6	4	2	6	17	13	26	17	24	13	13	3	4

小児科

報告定点数 31 ケ所 (内訳)東灘4,灘2,中央2,兵庫2,
設置定点数 31 ケ所 北5,長田2,須磨4,垂水5,西5

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	20歳～						
RSウイルス感染症								3		3		2	1																	
咽頭結膜熱										0																				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎					1		1		1	3			1			1	1													
感染性胃腸炎	4	1		1	4	4	2	12	7	35		4	4	3	2	6	1	2		1	2	4	1						5	
水痘	4				1		1			6			1			1	1		1		1							1		
手足口病						1				1																			1	
伝染性紅斑										0																				
突発性発疹										0																				
ヘルパンギーナ										0																				
流行性耳下腺炎								2		2							1		1											

※百日咳は、平成30年1月1日から全数報告となりました。

眼科

報告定点数 10 ケ所 (内訳)東灘1,灘1,中央1,兵庫1,
設置定点数 10 ケ所 北1,長田1,須磨1,垂水1,西2

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	70歳～	
急性出血性結膜炎										0																				
流行性角結膜炎	1									1															1					

【定点機関から報告されたその他の感染症情報】

東灘区〇ノロウイルス感染症1例:0歳10か月 女
〇水痘1歳 男:ワクチン接種歴あり(1回)

【基幹定点からの報告】

インフルエンザによる入院22例
(うち、インフルエンザA型15例、型別の記載なし7例)

【年末年始に海外へ渡航したみなさまへ】

海外では、さまざまな感染症が流行しています(蚊媒介感染症など)。
渡航後、約1ヶ月の間に体調が悪くなった場合は、速やかに医療機関を受診しましょう。また、受診時は、海外渡航歴を伝えましょう。

【お知らせ】 バックナンバーは神戸市のホームページからご覧いただけます。

[神戸市 発生動向](#) [検索](#) [「I」情報センター](#)ホームページを開いています。詳細は[こちらをクリック](#)

【市内の感染症の状況】

〇インフルエンザ

(インフルエンザ定点医療機関から報告された迅速キット陽性情報)

年末年始の休診により定点医療機関からのインフルエンザの定点あたりの患者数は減少していますが、正月休みが終わり、学校園や職場での集団が懸念されます。インフルエンザが疑われる方は、速やかに医療機関を受診し、マスクを着用することで飛沫感染予防に努めましょう。

A 型	B 型	A型およびB型
158	0	0

【風しんについて】

全国で風しん患者発生の報告が続いています。平成30年第40週(10月1日～10月7日)から平成31年1月6日までに兵庫県では、38例、神戸市では、7例の報告(IgM抗体検査陽性による検査診断例および臨床診断例)がありました。予防接種歴がないもしくは1回の方や罹患歴のない方、抗体価が十分でない方は、予防接種を検討しましょう。

[風しん予防接種の助成について](#) [神戸市HP](#)

インフルエンザ定点医療機関あたりの患者数が11月上旬頃から徐々に増加し始め、平成30年第52週(12月24日～12月30日)には8.3にまで増えています。
また、今週の迅速キットの検査結果は、全てインフルエンザA型でした。環境保健研究所では、インフルエンザA型(H1pdm09亜型)が4例、インフルエンザA型(H3亜型)とインフルエンザB型の重複感染の報告が1例ありました。
昨年の同時期はインフルエンザA型の患者がインフルエンザB型の患者を上回り、1月下旬に患者数が過去10年間で最大値に達しましたが、昨年のような傾向は見られていません。
しかし、今後の流行によっては2つの型に同時に感染したり、一度、罹患した人が別の型に再度、感染することがあります。十分な休養と栄養をとり、からだの抵抗力を高めましょう。

[インフルエンザ対策](#) [厚労省HP](#)